

ヤマハ音楽能力検定（グレード5・4・3級）要項

2019年5月～2019年10月試験実施用

ピアノ演奏グレード
エレクトーン演奏グレード
指導グレード

目次

ピアノ演奏グレード

科目と配点、試験当日の流れ	2
科目の概要	3
課題曲一覧	5

エレクトーン演奏グレード

科目と配点、試験当日の流れ	6
試験会場で用意されるエレクトーン機種	7
科目の概要	8
課題曲一覧	10

指導グレード

科目と配点、試験当日の流れ	12
科目の概要	14

追試について

演奏グレード（ピアノ／エレクトーン）	17
指導グレード	18

受験手続きと結果通知

受験申込から結果通知まで	19
受験の申し込み	20

本要項は日本国内で実施される試験専用です。記載内容は2019年5月～2019年10月実施の試験に対応しておりますが、諸般の事情により、やむを得ず内容を変更する場合がございます。ご受験の際には必ずウェブサイトをご確認ください。

ヤマハ音楽振興会グレードウェブサイト
URL : <https://www.yamaha-mf.or.jp/grade/>

お問合せ

ヤマハ音楽振興会 グレード事務局

〒153-8666 東京都目黒区下目黒3-24-22 TEL 03-5773-0815
平日 10:00～12:00, 13:00～17:00（土・日・祝 休業）

ピアノ演奏グレード

科目と配点

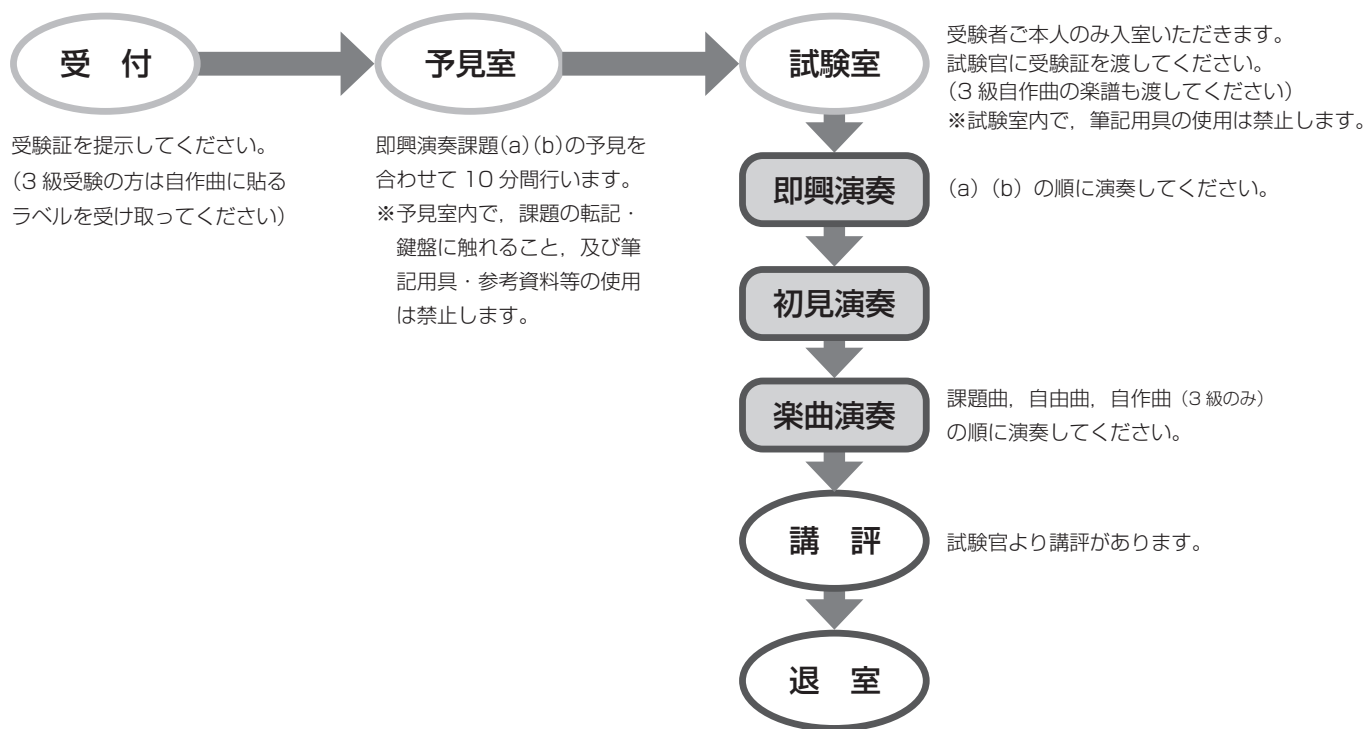
科目	配点
即興演奏 (p.3 参照) (a) (20点) (b) (20点)	40点
初見演奏 (p.3 参照)	20点
楽曲演奏 (p.4 参照) 課題曲 自由曲 自作曲 (3級のみ)	40点
合計	100点

合格点

合計点 75 点以上、なおかつ各科目の得点が配点の 50% を満たしていれば合格です。

ピアノ演奏グレードでは不合格の場合、受験条件を満たした方は追試を受けることができます。追試の詳細については p.17 をご覧ください。

試験当日の流れ (試験終了までは、係員及び試験官の指示に従ってください)



試験当日の注意事項

- 受験証記載の受付時間を厳守してください。受付時間に遅刻されますと受験できません。
- ※ 利用公共交通機関の支障（不通・欠航など）によるやむを得ない事情の遅刻・欠席は、その旨を当日会場に連絡してください。ただし、道路事情による遅刻（自家用車）は認められません。
- 試験当日の会場での練習はできません。
- 受付手続き終了後は、携帯電話、及びすべての電子機器の電源を切ってください。携帯電話の時計機能も利用できません。時計のアラーム等、音の出るものは電源を切ってください。
- 試験の進行上、やむを得ず試験開始時間が遅くなる場合がございますので、ご了承ください。
- 受験者の以下の行為は不正行為とみなされます。不正を行った受験者には、退室していただき、試験結果は無効となります。
 - ① 録音機器、ビデオ、カメラ、カメラ付携帯電話等を使用し、試験内容を記録する。
 - ② 本人以外の者が偽って受験する。
 - ③ 試験問題を故意に持ち出す。
 - ④ その他不正とみなされる行為。

科目の概要

即興演奏

即興演奏課題は (a) (b) 合わせて 10 分間予見をします。予見室内で、課題の転記・鍵盤に触れること、及び筆記用具・参考資料等の使用は禁止します。

即興演奏 (a) 課題のメロディーを下記の内容に従って即興的に演奏します。

	5 級	4 級	3 級
課題の内容・程度	16 小節程度の和音記号・コードネーム付き旋律。 使用される和音 (※) I, IV, II, V, V ₇ , 簡単な副属 7 の和音、及び短調は平行長調の V ₇ - I が含まれる。和音記号は I の第 2 転回形 (I ²) II の第 1 転回形 (II ¹) を除いてすべて基本形で示されるので受験者は必要に応じて転回形を用いてよい。	16 小節程度の旋律。 (和音記号・コードネームの指定なし) 副 3 和音, 副属 7 の和音を含む。 簡単な一時的転調を含むこともある。	16 小節程度の旋律。 (和音記号・コードネームの指定なし) 副 3 和音, 副属 7 の和音を含む。 一時的転調を含む。
演奏方法	① テーマを演奏する。 その際指定されている和音記号・コードネームに従って適切な伴奏をつけること。 ② つづいて 2 種類の変奏を即興的に演奏する。 (テーマ～変奏全体で一つの演奏にまとめる。)	① テーマを演奏する。 その際和音記号・コードネームの指定はないので、受験者自身が的確な和音を選択し伴奏をつけること。 ② つづいて 2 種類の変奏を即興的に演奏する。 (テーマ～変奏全体で一つの演奏にまとめる。)	
ポイント	1. 伴奏づけ, 鍵盤和声の能力。 2. 変奏による即興演奏の能力。		

※副属 7 は次のように表記されます。

例：ハ長調でコードネームが C → D₇ → G → C の場合、

I G:V₇ I C:I というように和音記号を提示します。

即興演奏 (b) 与えられた短いモチーフをもとに即興的に小品を作り演奏します。

演奏の方法	2～4 小節程度のモチーフが 3 題提示され、その中から 1 題を受験者自身が選択する。 選択したモチーフを使ってこれを発展させ、小品にまとめる。 形式は自由 (歌謡形式あるいはその他の様々な形式)
ポイント	課題のモチーフを利用して、旋律、和声に自然な流れを作り、的確な形式感をもって全体をまとめる能力。

初見演奏

課題内容 課題は各級とも 2 ページ程度の小品です。調、拍子等の範囲は特に定めません。

演奏手順 試験官の指示に従って 20 秒程度、課題を予見します。このとき鍵盤に触れることはできません。
そのあと試験官の合図によって演奏を始めます。

楽曲演奏

以下の規定に反する場合は、規定曲数不足となり、楽曲演奏の得点が0点になる場合があります。

規定曲数

	課題曲	自由曲	自作曲	計
5級	1曲	3曲	—	4曲
4級	1曲	3曲	—	4曲
3級	1曲	4曲	1曲	6曲

試験室で演奏する曲目、及び曲数はすべて試験官から指示されます。

課題曲

各級とも、ピアノメソッド・オリジナル編より、受験する級に該当する曲の中から1曲用意してください。

(p.5 課題曲一覧参照)

- 受験する級以外の課題曲からは選べません。
- p.5の課題曲一覧に掲載されていない曲は選曲できません。

自由曲

1. 一般に出版されているピアノのための楽曲から選曲してください。ピアニストが一般的に演奏会で取り上げる可能性のある曲は、自由曲として選曲できます。

- (1) すべて異なる作曲家の作品から選択してください。
- (2) 練習曲は選曲できません。また、タイトルに練習曲（エチュード）を含む楽曲（〇〇練習曲など）も選曲できません。ただし、下記作曲家の練習曲は選曲できます。

F. ショパン, R. シューマン, F. リスト, C. ドビュッシー, A.N. スクリャービン, S. ラフマニノフ

- (3) 課題曲を自由曲として選曲できません。

2. 一般に出版されていないものとして、自作曲または編曲作品（自編曲を含む）を自由曲として1曲に限り選曲することができます。（バッハ＝ブゾーニのシャコンヌのような編曲作品は上記1.に含まれます。）

- できるだけ幅広い年代の作品（バロック、古典、ロマン、近現代）から選曲してください。曲想・テンポ等の違いも考慮してください。

※受験証に曲目を記入する際は、調、楽章、組曲の中の番号、作品番号を詳しく記入してください。

※編曲作品は、編曲者名を曲名または作曲家の欄に併記してください。

- 楽譜は試験官に見せていただくことがありますので、必ず全曲持参してください。暗譜で演奏する場合も楽譜を持参してください。

自作曲

(3級のみ)

3級では受験者自身が作曲した作品を1曲用意してください。作品の内容については問いませんが、ご自分の演奏能力を充分発揮できるものを望みます。

ごく簡単な民謡、わらべうた等を相応に作編曲したものは自作曲とすることができます。

- 自作曲楽譜のコピーを試験官に提出していただきます。ご自身の演奏用とは別に用意してください。提出された楽譜のコピーは返却いたしませんのでご了承ください。

- 規定として義務付けられているのは1曲ですが、自由曲規定のとおり、自由曲に自作曲または編曲作品どちらか1曲を含めることもできます。

楽曲演奏全般について

- 暗譜を奨励しております。楽譜を見て演奏する場合は、受験者自身でできるよう工夫してください。

- 繰り返しがある曲は、楽譜通り練習し、当日演奏する際に試験官の指示に従ってください。

- 複数曲から成る楽曲（ソナタ、組曲、変奏曲、前奏曲とフーガなど）は、抜粋することができます。

- ソナタ等 第1楽章のみ、第3楽章のみ、第1楽章と第3楽章、のように抜粋できます。

- 組曲 1曲目のみ、1曲目と3曲目の組み合わせ、のように抜粋できます。

- 変奏曲 テーマと変奏を2つ以上弾いてください。ただし、ソナタの楽章として変奏曲形式が用いられている場合、変奏の抜粋はできません。

- 前奏曲とフーガ 前奏曲のみ、フーガのみ、抜粋せずに全曲、のように選曲してください。

抜粋する場合は、どのように抜粋しても1曲として数えます。何を弾くのかはっきり分かるように受験証に記入してください。また、楽譜は全曲持参してください。

課題曲一覧

課題曲は必ず以下の表に記載されている曲の中から選曲してください。

ピアノメトード・オリジナル編は、ヤマハのお店で購入いただくか、

ヤマハミュージックメディアのウェブサイト (<https://www.ymm.co.jp>) よりご注文ください。

■ピアノメトード・オリジナル編 5級 Vol.1 (改訂版)

〔注文番号 TGPM051N〕 定価〔本体 900 円 + 税〕

級	コードNo.	曲名	作曲者
5級	A-501	私のジェジェ	坂神亜理子
★	//	A-502 組曲「踊り」より <small>おどけた人形、レントラー パレリーナ</small>	藤原 亜美
★	//	A-503 ソナチネ <small>Allegretto, Andante, Allegro</small>	佐藤 香織
//	A-504	舞 曲	原田 靖子
//	A-505	早 春	野路 知子
//	A-506	コラール	佐野 恵

■ピアノメトード・オリジナル編 4-3級 Vol.1 (改訂版)

〔注文番号 GTG137271〕 定価〔本体 1,000 円 + 税〕

級	コードNo.	曲名	作曲者
4級	A-401	バルカローレ	角田 季子
//	A-402	風変わりの踊り	菊地みやび
//	A-403	舟うた	横山 琢哉
//	A-404	あやつり人形	生末 直美
4・3級	A-301	ソナタ	江村 夏樹
★	//	A-302 4つのパガテル I, II, III, IV	浦壁 信二

■ピアノメトード・オリジナル編 5級 Vol.2 (改訂版)

〔注文番号 TGPM052N〕 定価〔本体 900 円 + 税〕

級	コードNo.	曲名	作曲者
5級	A-507	パーティーへ向かう馬車	黒田千香子
//	A-508	スケートリンクの女王	辻 利恵
//	A-509	のうさぎ にげろ	北村 知子
//	A-510	勇敢な騎士	鳥谷部美帆
//	A-511	ソナチネ	山野 越子
//	A-512	春のささやき	服部研一郎
//	A-513	ファンタジック・ワルツ	瀬古伊都子

■ピアノメトード・オリジナル編 4-3級 Vol.2 (改訂版)

〔注文番号 TGPM0432N〕 定価〔本体 950 円 + 税〕

級	コードNo.	曲名	作曲者
4級	A-405	即興曲	本間 敦子
//	A-406	春雪	前田 麻紀
★	4・3級	A-303 動きのイメージ <small>汽車、白鳥、らくだ</small>	ミッシェル・アン・ヒル
//	A-304	海底	日野 美紀
//	A-305	バストラル	南木 千絵
//	A-306	ファンタジック ラプソディ	高橋 直子

■ピアノメトード・オリジナル編 5級 Vol.3

〔注文番号 TGT137090〕 定価〔本体 900 円 + 税〕

級	コードNo.	曲名	作曲者
★	5級	A-514 組曲「海のおはなし」より <small>おさかなのワルツ 海の中のおまつり</small>	久保瑠衣香
//	A-515	ユメミザクラの木の下で	紀山 恵理
//	A-516	プーさんのはちみつさがし	鳥越 瑞香
//	A-517	タランテラ	松下 祐花
★	//	A-518 組曲「お城の一日」より <small>中庭でかくれんぼ 小さな女王さまのメヌエット</small>	鈴木 歌穂
//	A-519	アレグロ グランディオーソ	田尻 洸貴

■ピアノメトード・オリジナル編 4-3級 Vol.3 (改訂版)

〔注文番号 TGPM0433N〕 定価〔本体 950 円 + 税〕

級	コードNo.	曲名	作曲者
4級	A-407	嵐の海	鎌田 志保
//	A-408	いたずらピノキオの冒険	服部 慶子
//	A-409	ノクターン	長田美奈子
4・3級	A-307	はるか水平線のかなたへ	稲葉裕美子
//	A-308	ファンタジー	中本 孝明
//	A-309	夜明け	池見 朋子
//	A-310	バラード	斎藤古那美

★印のついている曲は、抜粋することができます。

p.4の楽曲演奏全般についての記述もお読みください。

■ピアノメトード・オリジナル編 4-3級 Vol.4

〔注文番号 TGT137300〕 定価〔本体 1,100 円 + 税〕

級	コードNo.	曲名	作曲者
★	4級	A-410 組曲「しっぽの長いぬすみのぼうけん」より <small>いたずらぬすみくん はっぱの舟で出発だ!</small>	水本 明莉
★	//	A-411 組曲「冬物語」より <small>粉雪のダンス、冬げしき 雪の精</small>	稲葉 文菜
4・3級	A-311	民話的情景	佐々木千紘
//	A-312	誓い	嶋津 優里
//	A-313	Autumn Ballade	水戸 博之
★	//	A-314 変奏曲	三上絵里香

A-314「変奏曲」を選曲する場合、全曲でなくても構いませんが、必ずテーマと変奏を2つ以上弾いてください。

エレクトーン演奏グレード

科目と配点

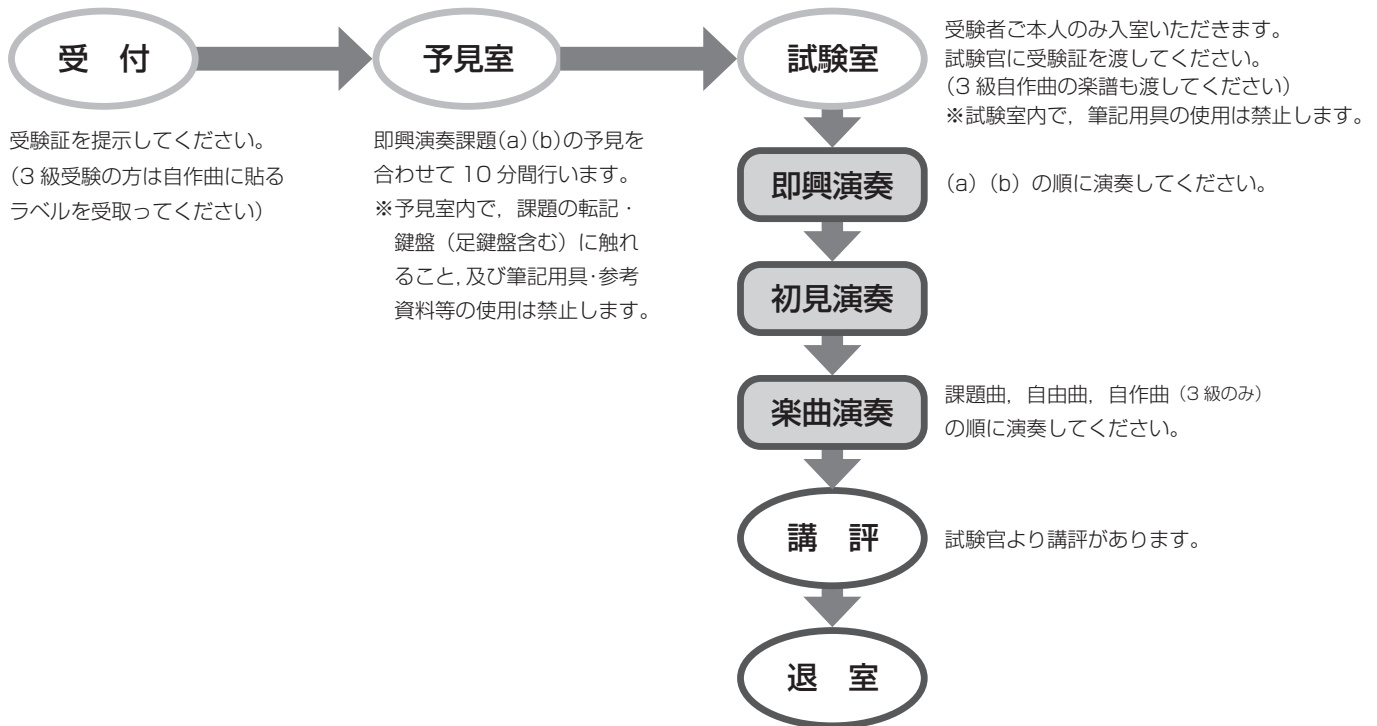
科 目	配 点
即興演奏 (p.8 参照) (a) (20点) (b) (20点)	40点
初見演奏 (p.8 参照)	20点
楽曲演奏 (p.9 参照) 課題曲 (オリジナルまたはクラシック) 自由曲 自作曲 (3級のみ)	40点
合 計	100点

合格点

合計点 75 点以上、なおかつ各科目の得点が配点の 50% を満たしていれば合格です。

エレクトーン演奏グレードでは不合格の場合、受験条件を満たした方は追試を受けることができます。追試の詳細については [p.17](#) をご覧ください。

試験当日の流れ (試験終了までは、係員及び試験官の指示に従ってください)



試験当日の注意事項

- 受験証記載の受付時間を厳守してください。受付時間に遅刻されますと受験できません。
- ※ 利用公共交通機関の支障(不通・欠航など)によるやむを得ない事情の遅刻・欠席は、その旨を当日会場に連絡してください。ただし、道路事情による遅刻(自家用車)は認められません。
- 試験当日の会場での練習はできません。
- 受付手続き終了後は、携帯電話、及びすべての電子機器の電源を切ってください。携帯電話の時計機能も利用できません。時計のアラーム等、音の出るものは電源を切ってください。
- 試験の進行上、やむを得ず試験開始時間が遅くなる場合がございますので、ご了承ください。
- 受験者の以下の行為は不正行為とみなされます。不正を行った受験者には、退室していただき、試験結果は無効となります。
 - ① 録音機器、ビデオ、カメラ、カメラ付携帯電話等を使用し、試験内容を記録する。
 - ② 本人以外の者が偽って受験する。
 - ③ 試験問題を故意に持ち出す。
 - ④ その他不正とみなされる行為。

試験会場で用意されるエレクトーン機種

■すべての試験会場で ELS-01C, ELS-02C が用意されております。

どちらか1機種を選択してお申し込みください。科目ごと、または楽曲ごとに機種を替えることはできません。申し込み後、エレクトーン機種を変更することはできません。

※レジストレーションデータを準備される方は、

- ① ELS シリーズ (ELS-01, ELS-01X) で準備された方は、ELS-01C で演奏してください。
- ② ELS シリーズ (ELS-02, ELS-02X) で準備された方は、ELS-02C で演奏してください。

※ ELS-02C で受験される場合は、

- ① ELS-02C 用の USB フラッシュメモリーは、動作確認済みの推奨 USB フラッシュメモリーをご使用ください。
- ② ELS-02C は、バイタライズした楽器を使用する場合があります。
バイタライズした楽器は、USB フラッシュメモリーの挿入位置が異なりますので、ご注意ください。
試験会場の楽器については、会場受付にてご確認ください。
- ③ バイタライズした楽器の場合、ELS-01C 用の椅子を使用することがあります。

MDR 及び楽器本体の機能の使用に関する注意点

MDR

次に示す要領に従い、楽器本体の MDR を試験で使用することができます。

- MDR の使用範囲は、レジストレーションデータの再生及びレジストレーションチェンジデータの再生のみ。演奏情報の再生は不可とします。
(エレクトーンに内蔵されている XG 音源については一切使用することができません。)
- 演奏情報及び XG 音源を全く使用していない限り、自由曲に市販の楽譜用レジストレーションデータを用いることができます。
- 使用可能な記憶媒体 (メディア) は、USB フラッシュメモリーのみです。楽器への装着・操作は受験者自身で行ってください。

楽器本体の機能

楽器本体に備わっている各種演奏補助機能は、演奏効果を高めるために自由に用いることができますが、各級の演奏レベルを維持することを前提として、使用してください。

その他

当日持参されたレジストレーションデータの不具合については、グレード事務局では責任を負いかねますので、必ずバックアップ等ご準備ください。

科目の概要

即興演奏

即興演奏課題は (a) (b) 合わせて 10 分間予見をします。予見室内で、課題の転記・鍵盤（足鍵盤含む）に触れること、及び筆記用具・参考資料等の使用は禁止します。

即興演奏 (a) 課題のメロディーを即興的に編曲演奏します。

	5 級	4 級	3 級
課題の内容・程度	1 コーラス (16 ~ 32 小節の旋律) コードネーム付き 使用されるコードの範囲は Major, Minor, Dominant 7th, Minor 7th, Minor 7th ♭5 (-5) 長さの指定 2 ~ 3 コーラスまたは 3 コーラス	1 コーラス (16 ~ 32 小節の旋律) コードネームなし 長さの指定 2 ~ 3 コーラスまたは 3 コーラス	1 コーラス (16 ~ 32 小節の旋律) コードネームなし 長さの指定 コーラス指定表記なし
演奏方法	課題の旋律を指定されたコーラス数をめどにコードネームに従い、即興的に編曲演奏する。	課題の旋律を指定されたコーラス数をめどに即興的に編曲演奏する。	課題の旋律を 3 コーラス程度をめどに即興的に編曲演奏する。
評価のポイント	与えられた旋律を即興的にひとつの演奏表現としてまとめ上げる能力。		
	コードネームの正しい把握。	旋律に対する的確なコード付け。	

即興演奏 (b) 与えられた短いモチーフをもとに即興的に小品を作り演奏します。

演奏の手順・方法	2 ~ 4 小節程度のモチーフが 3 題提示され、その中から 1 題を受験者自身が選択する。 選択したモチーフを使ってこれを発展させ、小品にまとめる。 形式は自由 (1 コーラスあるいはその他の様々な形式)
評価のポイント	課題のモチーフを利用して旋律、和声に自然な流れを作り、効果的なレジストレーションと的確な形式感、様式感をもって全体をまとめる能力。

初見演奏

課題内容 課題は各級とも 2 ページ程度の小品です。調、拍子等の範囲は特に定めません。

演奏手順 試験官の指示に従って 20 秒程度、課題を予見します。このとき鍵盤（足鍵盤含む）に触れることはできません。そのあと試験官の合図がありますので、レジストレーションをセットして演奏を始めます。
※楽譜どおりに演奏する。特に指示のない限り ♪=♪[♩]とは演奏しない。

楽曲演奏

以下の規定に反する場合は、規定曲数不足となり、楽曲演奏の得点が0点になる場合があります。

規定曲数

	課題曲	自由曲	自作曲	計
5級	1曲	3曲	—	4曲
4級	1曲	3曲	—	4曲
3級	1曲	4曲	1曲	6曲

(5・4・3級ともに
内1曲はポピュラー
編曲楽曲を含める)

試験室で演奏する曲目、及び曲数はすべて試験官から指示されます。

課題曲

各級とも、エレクトーンオリジナル曲集またはエレクトーンクラシック曲集より、受験する級に該当する曲の中から1曲用意してください。(p.10～11 課題曲一覧参照)

- 受験する級以外の課題曲からは選べません。
- p.10～11の課題曲一覧に掲載されていない曲は選曲できません。

自由曲

1. 一般に出版されているエレクトーンのための楽曲から選曲してください。すべて異なる作曲家、編曲者から選曲してください。
2. 一般に出版されていないものとして、自作曲または編曲作品(自編曲を含む)を自由曲として1曲に限り選曲することができます。
3. 各級とも必ず1曲、ポピュラー音楽的に編曲された楽曲を選曲し、受験証のポピュラー編曲楽曲欄に記入してください。このポピュラー編曲楽曲は一般に出版されているものから選曲しなければなりません。
4. サポート演奏等、演奏情報及びXG音源を使用している楽曲(データ)で受験することはできません。演奏情報及びXG音源を全く使用していない限り、自由曲に市販の楽譜用レジストレーションデータを用いることができます。

- できるだけ幅広い音楽ジャンルの曲から選曲してください。曲想・テンポ等の違いも考慮してください。
※ 曲目の演奏レベル(難易度)については、ヤマハより出版されている、5・4・3級表示のある各種エレクトーン曲集を参考にしてください。
- 楽譜は試験官に見せていただくことがありますので、必ず全曲持参してください。暗譜で演奏する場合も楽譜を持参してください。

自作曲

(3級のみ)

3級では受験者自身が作曲した作品を1曲用意してください。作品の内容については問いませんが、ご自分の演奏能力を充分発揮できるものを望みます。

- ごく簡単な民謡、わらべうた等を相応に作編曲したものは自作曲とすることができます。
- 自作曲楽譜のコピーを試験官に提出していただきます。ご自身の演奏用とは別に用意してください。提出された楽譜のコピーは返却いたしませんのでご了承ください。
 - 規定として義務付けられているのは1曲ですが、自由曲規定のとおり、自由曲に自作曲または編曲作品どちらか1曲を含めることもできます。

楽曲演奏全般について

- 暗譜を奨励しております。楽譜を見て演奏する場合は、受験者自身でできるよう工夫してください。
- 繰り返しがある曲については、楽譜通り練習し、当日演奏する際に試験官の指示に従ってください。ただし、シーケンスを組んである場合は楽譜通り(シーケンス通り)に演奏してください。ご自身でシーケンスを組む際も楽譜通りに組んでください。

課題曲一覧

課題曲は必ず以下の表に記載されている曲の中から選曲してください。

エレクトーン オリジナル曲集、エレクトーン クラシック曲集は、ヤマハのお店で購入いただくか、ヤマハミュージックメディアのウェブサイト (<https://www.ymm.co.jp>) よりご注文ください。

■エレクトーン オリジナル曲集 5級 1巻

〔注文番号 TGT137360〕 定価〔本体 1,000 円＋税〕

コードNo.	曲名	作曲者
B-503	早春	野路 知子
B-502	メリーゴーランド	内山 智恵
B-524	海の伝説	成富 彩加
B-508	ソナタ	山田 真紀
B-512	うかれ Violin	川田 晶子
B-525	にげろ、ハムスター	成富 聖弥
B-526	ファンタジックワルツ	徳永 寿子
B-531	ひかりのたび	中村 杏奈
B-532	黒い森の魔女	小野村季恵
B-533	はたらく小人	松木 志織

■エレクトーン オリジナル曲集 5級 2巻

〔注文番号 TGT137370〕 定価〔本体 1,000 円＋税〕

コードNo.	曲名	作曲者
B-511	ノームの伝説	小野あずさ
B-521	麦畑	田中 鮎美
B-523	日曜日のドライブ	中川貴美子
B-527	秋の野原で	谷口 真穂
B-514	ポプラのマーチ	田畑かおり
B-522	マリオネットの不思議な旅	大鹿 彩美
B-530	トランプの兵隊の行進	本堂麻衣子
B-518	動物村の運動会	神本 真理
B-506	しあわせ色の雨物語	井手美紀子
B-534	雪の妖精	桑原 まこ
B-535	郷愁	三輪まどか

■エレクトーン オリジナル曲集 4・3級 1巻

〔注文番号 TGT137380〕 定価〔本体 1,000 円＋税〕

コードNo.	曲名	作曲者
B-301	草原の風をあなたに	谷村 敬子
B-306	流星群	下村 敏子
B-316	大空の凱歌	小川 京子
B-315	星に踊る天使たち	中嶋 香子
B-320	アールグレイの昼下がり	山本 沙紀
B-321	王宮の音楽会	中沖 優子
B-322	発条仕掛けの人形	山本 香澄

■エレクトーン オリジナル曲集 4・3級 2巻

〔注文番号 TGT137390〕 定価〔本体 1,000 円＋税〕

コードNo.	曲名	作曲者
B-314	雲にのって	神本 真理
B-308	セレナーデ	クワ・エン・アン
B-302	勇気ある騎士	岩内 佐織
B-305	風船旅行	荻野 清子
B-323	潮風の贈りもの	佐々木果奈
B-324	月夜の Funny Cats	山田 圭介
B-325	秋	齋藤 仁美
B-326	夢のつづき	齋藤 祥子

■エレクトーン クラシック曲集 5級 Vol.1

〔注文番号 TGT136970〕 定価〔本体 1,000 円＋税〕

コードNo.	曲名	作曲者
C-501	「管弦楽組曲第2番」より ポロネーズ	J.S. バッハ
C-502	弦楽四重奏曲 Op.9-4 より 第2楽章メヌエット	ハイドン
C-503	モテット「アヴェ・ヴェルム・コルプス」K.618	WA.モーツァルト
C-504	交響曲第36番「リンツ」K.425より 第3楽章メヌエット	WA.モーツァルト
C-505	ピアノ・ソナタ第20番 Op.49-2より 第2楽章メヌエット	ベートーヴェン
C-506	アヴェ・マリア	シューベルト
C-507	ハンガリア舞曲第5番	ブラームス
C-508	ワルツ「春の声」	ヨハン・シュトラウス
C-509	交響詩「わが祖国」より モルダウ	スメタナ

■エレクトーン クラシック曲集 5級 Vol.2

〔注文番号 TGT136980〕 定価〔本体 1,000 円＋税〕

コードNo.	曲名	作曲者
C-510	組曲「展覧会の絵」より プロムナード	ムソルグスキー
C-511	愛のあいさつ	エルガー
C-512	夢	ドビュッシー
C-513	鉛の兵隊の行進	ピエルネ
C-514	リュートのための古代舞曲とアリア第3集より イタリアーナ	レスピーギ
C-515	おもちゃの兵隊の行進	イエッセル
C-516	ルーマニア民族舞曲より 杖踊り	バルトーク
C-517	ルーマニア民族舞曲より プチュムの踊り	バルトーク
C-518	古典交響曲（交響曲第1番）第3楽章 ガボット	プロコフィエフ
C-519	子供の音楽 Op.65より マーチ	プロコフィエフ

■エレクトーン クラシック曲集 4・3級〔改訂版〕Vol.1

〔注文番号 TGT136880〕 定価〔本体 1,600 円＋税〕

コードNo.	曲名	作曲者
C-300	8つの小プレリュードとフーガ第1番より プレリュード BWV.553	J.S. バッハ
C-326	8つの小プレリュードとフーガ第6番 BWV.558	J.S. バッハ
C-312	フルート四重奏曲 第1番 K.285 第1楽章 アレグロ	WA.モーツァルト
C-328	交響曲 第25番 K.183 第1楽章	WA.モーツァルト
C-337	ヴァイオリンと管弦楽のためのロマンス 第2番 Op.50	ベートーヴェン
C-313	アルペジオーネ・ソナタイ短調 D.821 第1楽章 アレグロ・モデラート	シューベルト
C-306	幻想交響曲 Op.14 第2楽章 舞踏会	ベルリオーズ
C-316	交響曲第4番 Op.120 第3楽章 スケルツォ	シューマン
C-330	歌劇「ジョコンダ」より 時の踊り	ボンキェルリ
C-331	歌劇「カルメン」より 前奏曲	ビゼー

■エレクトーン クラシック曲集 4・3級〔改訂版〕Vol.2

〔注文番号 TGT136890〕 定価〔本体 1,400 円＋税〕

コードNo.	曲名	作曲者
C-332	ハプサルの思い出 Op.2より 無言歌	チャイコフスキー
C-321	舞踏組曲「眠りの森の美女」より ワルツ	チャイコフスキー
C-318	組曲「展覧会の絵」より 牛車	ムソルグスキー
C-307	スラブ舞曲 第1番 Op.46-1	ドボルザーク
C-334	旅の思い出 Op.71より 入江のざわめき（マラゲーニャ）	アルベニス
C-333	劇付随音楽「ペレアスとメリザンド」Op.80よりプレリュード	フォーレ
C-319	「小組曲」より 小舟にて	ドビュッシー
C-336	交響的物語「ピーターと狼」Op.67より ピーターのテーマ	プロコフィエフ
C-336	交響的物語「ピーターと狼」Op.67より 行進	プロコフィエフ
C-310	バレエ音楽「ガイーヌ」より ばらの乙女たちの踊り	ハチャトゥリアン
C-320	劇付随音楽「仮面舞踏会」より ワルツ	ハチャトゥリアン

注 上記課題曲一覧になく、既に絶版となっている曲集に掲載されていた4・3級クラシック曲は、課題曲コードNo.がついている曲でも課題曲としては選曲・使用できません。

指導グレード

科目と配点

指導グレードは、実際に音楽を指導するうえに必要な音楽の諸能力、技術、知識等を審査するもので、筆記試験と実技試験からなっています。

演奏グレードは、ピアノ、エレクトーン、管楽器等各種ありますが、この指導グレードはすべてに共通です。(実技科目で使用する楽器はピアノです。)

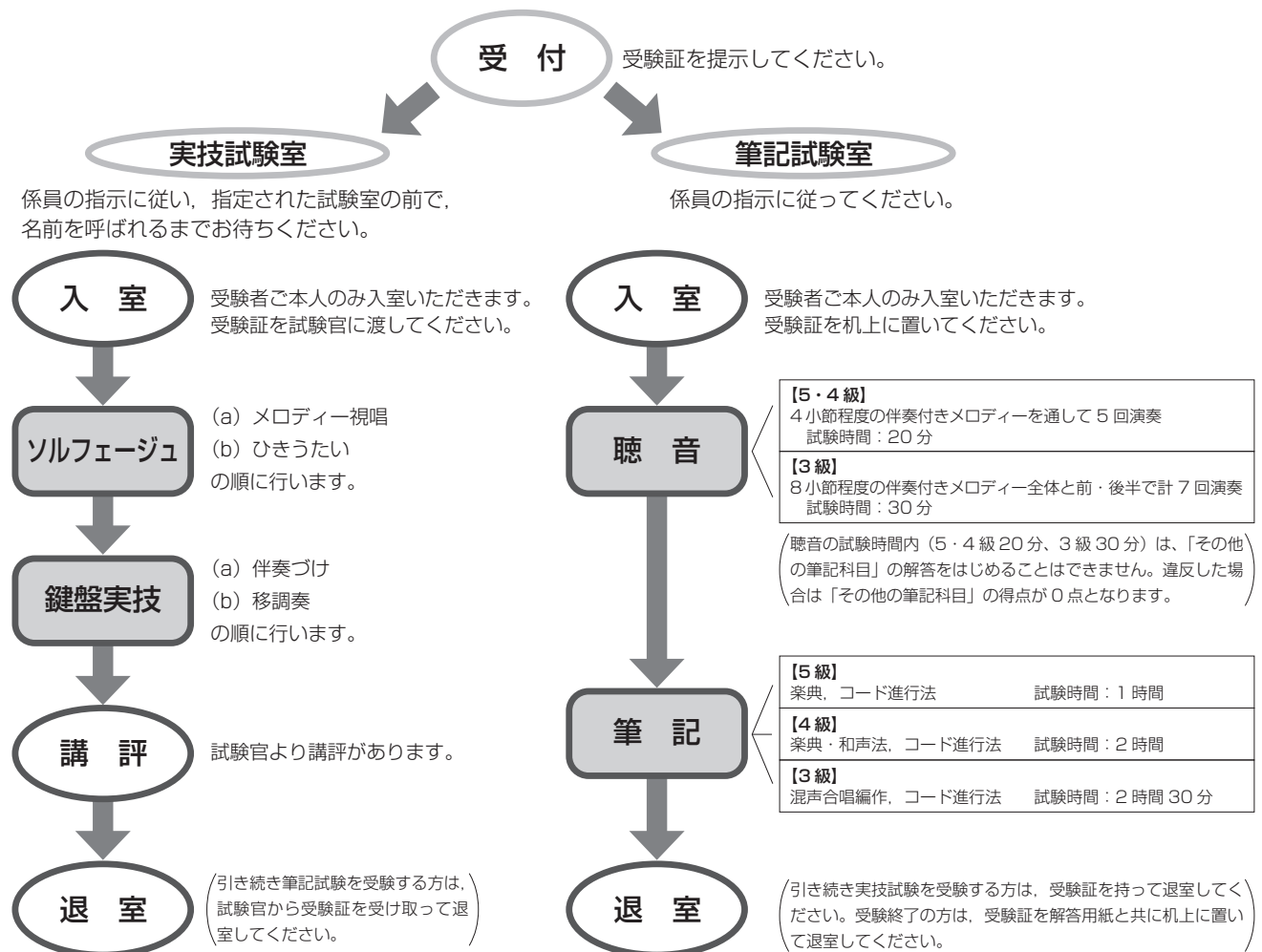
科 目		配 点
実 技 試 験	ソルフェージュ (ピアノ使用) (p.14 参照) (a) メロディー視唱 (50点) (b) ひきうたい (50点)	100点
	鍵盤実技 (ピアノ使用) (p.14 参照) (a) 伴奏づけ (50点) (b) 移調奏 (50点)	100点
筆 記 試 験	聴音 (p.15 参照)	100点
	楽典 (5級) } 楽典・和声法 (4級) } 混声合唱編作 (3級) }	(p.16 参照) 100点
	コード進行法 (p.16 参照)	100点
	合 計	500点

合格点

合計点 375 点以上、なおかつ各科目の得点が 60 点以上あれば合格です。60 点未満の科目は失格となり、たとえ合計 375 点以上を取っても合格とはなりません。

指導グレードでは不合格の場合、得点にかかわらず、追試を受けることができます。追試の詳細については p.18 をご覧ください。

試験当日の流れ (試験終了までは、係員及び試験官の指示に従ってください)



試験当日の注意事項

- 受験証記載の受付時間を厳守してください。受付時間に遅刻されますと受験できません。
- ※利用公共交通機関の支障（不通・欠航など）によるやむを得ない事情の遅刻・欠席は、その旨を当日会場に連絡してください。
ただし、道路事情による遅刻（自家用車）は認められません。
- 実技試験と筆記試験の開始時刻は、それぞれ受験証に記載されています。実技試験のあとに筆記試験を受験していただく場合と、実技試験の前に筆記試験を受験していただく場合とがあります。
- 試験当日の会場での練習はできません。
- 筆記試験を受験する方は、筆記用具をご持参ください。
- 受付手続き終了後は、携帯電話、及びすべての電子機器の電源を切ってください。携帯電話の時計機能も利用できません。
時計のアラーム等、音の出るものは電源を切ってください。
- 試験中は参考資料等を見ることはできません。
- 実技試験室内で、筆記用具の使用は禁止します。
- 筆記試験では、聴音とその他の筆記科目それぞれに解答時間が規定されています。試験では、聴音から解答をはじめていただきますが、聴音の解答時間内にその他の筆記科目の解答をはじめた場合、規定違反としてその他の筆記科目の得点が0点となりますので、ご注意ください。
- 筆記試験では途中退室をしても構いませんが、一度退室されたら再入室はできません。
- 試験の進行上、やむを得ず試験開始時間が遅くなる場合がございますので、ご了承ください。
- 受験証は、試験がすべて終了した時点で、実技・筆記いずれかの試験室に置いて退室します。
- 受験者の以下の行為は不正行為とみなされます。不正を行った受験者には、退室していただき、試験結果は無効となります。
 - ① 資料や他人の解答を覗き見たり、試験中に援助を与えたり、または受けてりする。
 - ② 録音機器、ビデオ、カメラ、カメラ付携帯電話等を使用し、試験内容を記録する。
 - ③ 本人以外の者が偽って受験する。
 - ④ 試験問題を故意に持ち出す。
 - ⑤ その他不正とみなされる行為。

科目の概要

指導グレード実技試験

ソルフェージュ

(a) メロディー視唱 無伴奏の旋律を初見視唱します。

	5級	4級	3級
内容・課題の程度	8小節程度の旋律。 臨時記号を含むこともある。	8～16小節程度の旋律。 簡単な一時的転調を含むこともある。	12～24小節程度の旋律。 一時的転調を含む。
実施方法	ドレミ唱（固定ド、移動ド）、ラララ唱など歌い方は自由。立って歌ってもピアノの前に座って歌ってもよい。 15秒程度の予見ののち、試験官の指示に従って開始する。その際、主和音または開始音をピアノで確認するが、予見時に確認してもよい。（確認は1度）		

(b) ひきうたい コードネームに従ってピアノ伴奏（両手）しながら初見視唱します。

	5級	4級	3級
内容・課題の程度	12～16小節程度のコードネーム付き旋律。 使用されるコードネーム Major, Minor, Dominant 7th (副属7を含む)	12～16小節程度のコードネーム付き旋律。 使用されるコードネーム dim, aug, m ⁷ 等を含むこともある。	12～24小節程度のコードネーム付き旋律。 使用されるコードネーム 一般に用いられるすべてのコード。
実施方法	ドレミ唱（固定ド、移動ド）、ラララ唱など歌い方は自由。 課題に指定されているコードネームに従って旋律にふさわしい伴奏形を用いてピアノ伴奏しながら歌う。旋律を弾いてはいけない。 15秒程度の予見ののち、試験官の指示に従って開始する。その際、主和音または開始音の単音をピアノで確認するが、予見時に確認してもよい。（確認は1度） 課題通りの長さで演奏する。（課題にない前奏をつけてはいけない） 但し、冒頭の1・2小節が休符で始まる課題は適宜前奏か伴奏リズムを先行させたのち歌に入る。		

鍵盤実技

(a) 伴奏づけ 単旋律にピアノで伴奏をつけます。

	5級	4級	3級
内容・課題の程度	8小節のごく簡単な旋律。 主要3和音、属7。 正しい低音による終止形。	非和声音を含む8小節程度の旋律。 より適切な低音の選択。 II, VIなど副3和音を含むこともある。	一時的転調を含む12～16小節程度の旋律。 副3和音、副属7の和音を含む。 一時的転調を含むこともある。
実施方法	最初にメロディーだけで演奏する。次にメロディーに適切な伴奏をつけて演奏する。 予見時間は与えられない。		

(b) 移調奏 課題は大譜表で提示され、定められた音程に従って移調して演奏します。

	5級	4級	3級
内容・課題の程度	8小節程度。 低音または和音伴奏を伴う旋律。		オーケストラ・室内楽・歌曲など古今の名曲の一部をピアノ編曲したもの。
実施方法	移調の範囲 長2度・短2度・完全4度・完全5度のそれぞれ上下。		移調の範囲 5級・4級の範囲に加え 長3度・短3度の上下を含む。
	最初に課題の大譜表を楽譜通りに演奏する。次に指定されている音程に従って移調し演奏する。予見時間は与えられない。		

指導グレード筆記試験

聴音

エレクトーンによる伴奏付きメロディーの聴音書き取り

課題は各級とも、演奏データをエレクトーンで再生して行います。

	5級	4級	3級
長さ	4小節程度 (但しアウフタクトを含むことがある)		8小節程度 (但しアウフタクトを含むことがある)
主調音名	調名とその調の主音はあらかじめ与えられる。 但し拍子名は与えられない。(何拍子かは課題から各自判断する)		
和声(範囲)	5・4・3級共、低音を楽譜に記入し、和声はコードネーム(和音記号でもよい)を解答する。		
	主として終止進行 主要3和音と、属7、I ² を含むことがある。		副属7、減7、増和音等及び各種の転回形を含む。 5級の範囲に加え、副3和音、簡単な転回形(I ¹ 、II ¹ 等)。
演奏回数	各30秒程度の間隔で、全体を通して5回演奏される。 この間に書き取る。		各20秒程度の間隔で次のように演奏される。 1. 8小節全体を通して 2. 前半の4小節だけ 3. 前半をもう一度 4. 全体を通して 5. 後半の4小節だけ 6. 後半をもう一度 7. 全体を通して

*この聴音試験では書き取り中は、5・4級は下書き欄を、3級では下書き用紙を用い、最終的に解答用紙に清書転記する。3級の下書き用紙は試験問題とともに提出し、持ち帰ることはできない。

5級・4級 課題の提示方法

1. 課題の調の主音が1回目の演奏の前にピアノ音色で示されます。
2. 5回演奏される各回の前に、短い発信音が鳴ります。1回目の時は発信音が1回、順に5回目の時は5回の発信音の後に始まります。
3. 課題の音色は、和音と低音は弦楽合奏(Strings)又はホルンと弦楽等、メロディーはStringsの他に、木管楽器系、金管楽器系等、各種の音色が、課題によって使い分けられます。
4. 拍子は指示されないで、4小節とは限らず、2小節、8小節での解答もありえます。
5. 和声記号で解答する場合VI、IIなどをVI_m、II_mと表示することもできます。転回形の表示(I²、II¹、G^{onC}等)は不要です。

3級 課題の提示方法

1. 基本的な提示方法は上記3級の演奏回数参照。演奏開始の合図は5・4級とは異なり、全体、前・後半計7回とも共通の発信音です。
2. 3級ではなるべくコードネームで解答することをお勧めします。和声記号の場合、各種の変化和音の表示方法がいろいろあり、いずれも普遍的とは限らないからです。

楽典（5級）／楽典・和声法（4級）／混声合唱編作（3級）

5級では音階、和音、楽譜、調性の判別、正しい記譜法など、音楽全般の知識を問います。

4級では、それに加えて、移調楽器を含む楽器全般の知識と基礎的な和声法の理解度を見ます。

3級では、与えられた歌詞付きのメロディーを無伴奏混声4部合唱曲に編曲します。

5級	4級	3級
楽典	楽典・和声法	混声合唱編作
以下の範囲より適宜出題されます。 ●音階、和音、リズム、音程、 比較的よく使われる記号、楽語などの全 般的知識。 ●楽譜、記号等の正しい書き方。 ●抽出された楽譜の一部による調性判別。	以下の範囲より適宜出題されます。 ●5級の範囲に加え、移調楽器、ハ音記号 等を含むスコアの読み取りと理解。 ●終止形、簡単な転回形を含む4声体和声 の実施。	比較的良好に知られた民謡、唱歌、ポピュラー 曲等のメロディーを用いて無伴奏混声4部 合唱曲に編曲する。 曲の長さ、スタイル、その他書法は自由。 4声体和声様式が基本であるが、自由な編 曲の手法を用いることもできる。

コード進行法 コード進行についての理解度を見ます。

5級		4級		3級		
[A] コード付け	旋律にふさわしいコードネームと低音を記入する。	[A] コード付け	旋律にふさわしいコードネームを記入する。	[A] コード付け	旋律にふさわしいコードネームと低音を記入する。	
	使われる和音の種類 (主要3和音、属7、副3和音、これ以外の和音を適宜に使用してもよい。)	[B] 低音の選択	使われる和音の種類 (5級の範囲に副属和音、経過和音等が加わる。)		[B] メロディー作曲	モチーフに続いて、指定されたコード進行と小節数に従ってメロディーを作曲する。
	[B] カウンターライン	[C] カウンターライン	コードネーム付き旋律にカウンターライン(*)を記入する。		[C] オブリガート・低音	コードネーム付き旋律に対し、実際の編曲に即した第2パート(オブリガート)と低音を記入する。
			上記BとCを合体した課題が出題されることがある			

※対旋律の素になるラインをカウンターラインと呼びます。音価はコードの長さとも一致させます。

(例)

聖者の行進より
(アメリカ民謡)

追試について 演奏グレード (ピアノ/エレクトーン)

追試の受験条件

演奏グレードを全科目受験して不合格となった受験者のうち、

各科目の得点が配点の 50% 以上で

- A. 合計点が 70 点以上 (70 点～74 点)
- B. 楽曲演奏を 30 点以上取得

A, B いずれかの条件を満たした方が追試での受験が可能です。
追試を受けることができる場合は、結果通知書に記載があります。

追試有効期間

- 追試の受験条件を満たした全科目受験日より 1 年間です。
例：5 月 21 日全科目試験の受験で、追試の受験条件を満たした場合
翌年 5 月 20 日までに実施される試験において、追試受験が可能です。
- 追試有効期間中にあらためて全科目試験で受験されますと、新規の受験となりその結果が優先されます。追試期間が残っていても、無効となります。

追試科目

- 合計点を 75 点以上とすることを目標に、1 科目または 2 科目を受験者自身が選択して申し込んでください。
※「即興演奏」は追試の場合でも (a) (b) 両方の課題を行います。
- 申込後の科目の変更はできません。
- 追試で申し込んだ科目は、常に最新の点数に書き換えられます。
- 申し込んだ科目のうち受験されない科目があった場合は、その科目は 0 点になります。
追試受験日に欠席された場合は、前回の得点がそのまま残ります。

受験料

各級の全科目演奏グレード受験料と同額です (p.20 参照)。
受験料は、理由の如何にかかわらず返金できません。

申込方法

全科目受験時と手順は同じです。試験種類を追試に指定して、受験する科目を選択してください。

合否

追試で選択した科目の新たな得点と、選択しなかった科目の前回受験時の得点とを合計し、合計点 75 点以上、なおかつ各科目の得点が配点の 50% を満たしていれば合格です。

- 追試の結果が不合格で得点が追試条件の点数を下回っても、一度得た追試資格は 1 年間有効です。有効期間内であれば、次回の試験も追試での申込が可能です。ただし、点数は最新のものに書き換えられます。

注意事項

- 追試制度で受験された場合は、点数の更新管理上、1 つの試験の結果通知が出る前に次の追試の申し込みはできません。

追試について 指導グレード

追試の受験条件

指導グレードでは全科目受験にて不合格の場合、合計点、各科目の得点にかかわらず追試での受験が可能です。

追試有効期間

- 全科目受験日より1年間です。

例：5月21日全科目試験を受験した場合

翌年5月20日までに実施される試験において、追試受験が可能です。

- 追試有効期間中にあらためて全科目試験で受験されますと、新規の受験となりその結果が優先されます。追試期間が残っていても、無効となります。

追試科目

- 失格点（60点未満）をなくすことと、合計点を375点以上とすることを目標に、1科目～4科目を受験者自身が選択して申し込んでください。

※追試の場合でも「ソルフェージュ」は（a）メロディー視唱（b）ひきうたい両方の課題を行います。同様に「鍵盤実技」は（a）伴奏づけ（b）移調奏両方の課題を行います。

- 申込後の科目の変更はできません。
- 追試を申し込んだ科目は、常に最新の点数に書き換えられます。
- 申し込んだ科目のうち受験されない科目があった場合は、その科目は0点になります。

追試受験日に欠席され、追試科目を1つも受験しなかった場合は、前回の得点がそのまま残ります。

※筆記試験の追試も全科目試験の場合と同じ時間が与えられます。

受験料

各級の全科目指導グレード受験料と同額です（p.20参照）。

受験料は、理由の如何にかかわらず返金できません。

申込方法

全科目受験時と手順は同じです。試験種類を追試験に指定して、受験する科目を選択してください。

合否

合計点375点以上、なおかつ各科目の得点が60点以上あれば合格です。60点未満の科目は失格となり、たとえ合計375点以上を取っても合格とはなりません。

受験手続きと結果通知

受験申込から結果通知まで

1 「要項」(本書)をよく読んで、受験するグレードの種類・級を決定

受験資格として、年齢、国籍等の制限はありません。ただし、日本国内に連絡先を有する人として。受験証、結果通知書の送付先も日本国内のみとします。また、試験で使用する言語は日本語のみです。

2 受験日・受験会場を選択

試験日は毎年、3月に5月～10月分、9月に11月～翌年4月分を発表します。5・4・3級試験会場をはじめとするヤマハ音楽教室にて配布している「5・4・3級グレード試験実施予定表」にてご確認ください。

なお、ヤマハ音楽振興会グレードウェブサイトにも掲載しております。

(<https://www.yamaha-mf.or.jp/grade/>)

3 1ヵ月前までにウェブサイトより申し込み (p.20をよくお読みください)

試験会場の定員に達した場合は、受付を締め切らせていただきます。

4 10日～1週間前 **受験証** 到着

受験証は、受験日の1週間前までに到着するように、登録いただいた住所・氏名宛に郵送いたします。

受験日の6日前までに届かない場合は、グレード事務局(表紙参照)まで、至急お問い合わせください。

申込内容の変更はできません。

- 写真(4cm × 3cm)を所定の位置に貼ってください。
- 演奏グレード受験の場合は、裏面の演奏曲目表に必要事項を記入してください。

5 試験当日(各グレードの“試験当日の流れ”p.2, p.6, p.12参照)

- 会場受付にて**受験証**を提示してください。
- 受験証記載の受付時間を厳守してください。受付時間に遅刻されますと受験できません。
- 試験終了までは、係員及び試験官の指示に従ってください。

6 試験後～3週間程度 **結果通知書** 到着

結果通知書は受験日より3週間程度で、登録いただいた住所・氏名宛に郵送いたします。

1ヵ月を過ぎても届かない場合は、グレード事務局(表紙参照)までお問い合わせください。

合格された方には、結果通知書と共に、「合格証書」を発行し、送付いたします。

結果通知書、および合格証書の再発行はできません。大切に保管してください。

試験結果や受験経歴に関するお問い合わせには一切応じておりませんので、あらかじめご了承ください。

住所、氏名等が変更になった際は、結果通知書に添付の「住所等変更届」をお送りください。

受験の申し込み

申し込み方法

ヤマハ音楽振興会グレードウェブサイトの「グレード5・4・3級試験申込」よりお申し込みください。

<https://www.yamaha-mf.or.jp/grade/>

- 初めてウェブサイトから申し込みをされる方は、ログイン画面にある「新規登録」にて氏名とメールアドレスを登録してください。ログインに必要なユーザーIDとパスワードを発行いたします。登録いただくメールアドレス宛に、申込受付後に受付メールを送信いたします。受付メールを受信できるように次のドメイン（@の後ろがドメインです）を受信設定してください。「@ymf-rapport.jp」（設定方法は、Eメール契約問合せ先にご確認ください。）
- ウェブサイトは24時間利用できます。ただし、メンテナンスのため不定期に停止することがあります。
- 受験料の支払方法は、次のいずれかを申し込み時に選択してください。申し込み後、支払方法の変更はできません。
 - ・コンビニエンスストアにて現金支払い
申込から3日以内に受験料をお支払いください。期日までにお支払いが無い場合、申込は無効となります。レジにて発行されるお客様控えを必ず受け取り、受験証が届くまで保管してください。
 - ・クレジットカード決済（一括払い）
ウェブサイトからの申し込みと同時に、受験料決済の手続きを完了します。
引落日については、ご利用のカード会社にお問い合わせください。
- 画面の指示に従い、必要項目を入力してください。受験料決済の手続き完了後（コンビニ支払いの場合は入金確認後）受付メールを送信いたします。申込から受付メールが届くまでに数日かかることがあります。
- 受付メール送信後でも、グレード事務局より問い合わせをさせていただくことがあります。

申し込み締め切り

お申し込みの締め切りは、試験日の1ヵ月前の同日です。

試験会場の定員に達した場合は、受付を締め切らせていただきます。

受験料

受験日における消費税を加えてお支払い込みください。（申込日時点の消費税ではありません）

●ピアノ・エレクトーン演奏グレード

5級	9,500円+税
4級	10,500円+税
3級	12,500円+税

●指導グレード

5級	8,500円+税
4級	9,500円+税
3級	12,500円+税

※受験料は、理由の如何にかかわらず返金できません。あらかじめご了承ください。

※消費税等が変更になった場合は、払込金額も変わります。

申し込み上の注意

- 申し込み後、受験日や内容を変更したり、申込を取り消したりすることはできません。
- 試験時間の指定や希望は承れません。
- 同じ日に実施される試験に複数のお申し込みは受け付けできません。
- 申込内容について、グレード事務局より問い合わせをさせていただくことがあります。
不備がありますと、ご希望日に受験いただくことができません。

欠席連絡

欠席される場合は、グレード事務局（表紙参照）までご連絡ください。ただし、試験の前日・当日の場合は、受付締切時間までに試験会場へお電話ください。なお、返金や受験日の変更はできません。

※申し込み方法や申し込み締め切りは変更する場合がございます。その際にはヤマハ音楽振興会グレードウェブサイトにてご案内いたします。（<https://www.yamaha-mf.or.jp/grade/>）